

今年で第20回目となる医学展ではテーマを医国情緒と題し、坂本塾や連続講演企画など新しい企画がたくさんある医学展となりました。

講演会企画

1日目 向井亜紀講演会、2日目 三浦雄一郎講演会

講演会企画では土曜日と日曜日に渡って、連続公開講演会と題し、夢をテーマに二人の講師にお話していただきました。

1日目の向井亜紀氏の講演会では、ご自身のがんと闘病のご経験から夢や目標をもって生きることの大切さについて教えていただきました。向井さんの涙ながらのご講演に、会場は講師とお客さんが真剣に夢を持つことについて一緒に考えることができた講演会となりました。



2日目の三浦雄一郎氏の講演会では、登山が趣味の方、高校生、大学生など幅広い年代のお客さんで会場はいっぱいとなりました。

三浦さんの、80歳で数々の生活習慣病や持病を抱えながら果たしたエベレスト登頂までの軌跡を知ることができ、どんなに困難なことでも目標をもって一步一步努力することで素晴らしい人生を歩むことができることを学びました。

医学展 2013



編集長
山本 直毅 (医学部メディア部)

編集部
長崎大学医学部ぐびろが丘編集部
長崎医学同窓会
〒852-8523 長崎市坂本1丁目12番4号
☎095-848-5484
E-mail: ryojun-do@med.nagasaki-u.ac.jp

印刷
株式会社インテックス

屋台

今回の医学展では、医学部の中庭に各部活からたくさんの屋台の出店がありました。

1日目の閉店間際、暗くなるまで出店を楽しむラグビー部



♪医学部室内合奏団による出張演奏販売♪

献血車

献血企画では今回11月10日(日)に献血車をポンペ会館前にお呼びして、9時~11時半と1時から4時半までの二部構成で行いました。

みなさんの協力もありまして、63人の方に献血していただきました。

思ったより人が集まったようで3年後もよろしくとのことでした。

救急車

救急車を呼ぶにあたって一番心配したのは、医学生は救急車の中身について本当に興味があるのかということでした。しかし、いざ救急車が来てみると自分自身が救急車の中身について夢中になってしまい、これは大丈夫だと確信しました。多くのひとに救急車の中を見ていただいたと聞いて安心しました。次の医学展にもぜひ来ていただきたいと思います。

ミスコン

今回のミスコンは他大学に一般的に見られるような外見のみのものではなく、見ている観客、候補者、応援団、と関わるみんなから笑いがおこることを目的としたものになりました!

競技としては告白キョクンTime、エクストリーム叩いてかぶってじゃんけんぽん、以心伝心ジェスチャーゲーム、ぬるぬるローション相撲があり、他のミスコンでは見ることのないような内容にしました。

ミスコン後は候補者を出し渋っていた色々な部活から出しておけばよかったという声をいただき、3年後の医学展はまた一段と盛り上がることでしょう。

3年後に行う予定の企画に向けても、ミスコンを通じて色々なことを経験出来たので3年後の次の医学展には乞うご期待といいたいです。

坂本塾

坂本塾は主に学生を先生として、様々な体験を通して子供たちに医学について学んでもらう企画でした。

各講義では平均30人、カステラmatesの熱中症についての講義では50人もの方が参加してくれました。

クイズラリーやシミュレーター体験でもたくさんの人が楽しんでくれたようで、医学生として日頃の勉強の成果を地域に還元できたと思います。



ハロウィンパーティ

10月25日(金)に恒例のハロウィンパーティが今年も行われました！
たくさんの仮装者でとても賑わいました(*^^)
仮装コンテストの結果は以下のようになりました。



▲1位 田崎 裕太郎さん(6年)で紅の豚



▲2位 伊達 雅浩さん(1年)でダルシム



▲3位 村上 奈央さん(4年)でラブソウル



上は今年のスタッフ★

となりました☆★
田崎さんはなんと二年連続の優勝です!!

来年も楽しみにしててくださいね～～!!!

長崎大学 ホームカミングデー 2013

11月23日(土) 長崎大学文教キャンパス内

ホームカミングデー日程

中部講堂	
13:00	受付開始
14:00	第5回ホームカミングデー開会
14:00	第一ステージ ロマンツアー合唱団演奏
14:20	長崎大学全学同窓会会長・長崎大学長挨拶
14:30	講演会 伸びる人間の条件 講師 田尾安志
15:50	第二ステージ チアリーディング部演技
16:10	第三ステージ 落語研究会出演
16:30	第四ステージ よさこい部「突風」演技



▲学長と田尾さん



▲学生指導中の田尾さん



▲ロマンツアー合唱団演奏



▲学長挨拶



▲キャンパスツアー受付



▲講演会 伸びる人間の条件 田尾安志さん

学生会館食堂2階	
17:10	ホームカミングデー・パーティー開会
17:10	開会の挨拶及び乾杯
17:15	第五ステージ はもねびあ演奏 (歓談)
17:40	第六ステージ 軽音楽部演奏 Swing Boat Jazz Orch
18:10	閉会の挨拶

長崎大学広報戦略本部全学同窓会支援室
URL◎<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>



▲チアリーディング部演技



▲よさこい部「突風」演技



▲落語研究会出演



◀ホームカミングパーティーの朝長万左男 長崎医学同窓会会長挨拶



▲はもねびあ演奏



▲軽音楽部演奏

◎第65回西医体結果

	男子	女子
バドミントン	団体戦 2位	-
剣道	団体戦 1位 個人戦 3位：石原寛之	-
硬式テニス	団体戦 4位	-
ソフトテニス	団体戦 ベスト8 個人戦 2位：宮崎・神田 4位：近藤・田中	-
水泳	団体戦 2位 400m自由形 4位：岡田宗大 800m自由形 1位：岡田宗大 100m背泳ぎ 2位：品川博光 200m背泳ぎ 6位：品川博光 200m個人メドレー 3位：西垣明久 400m個人メドレー 3位：西垣明久 200mリレー 6位：前原・品川・岡田・内田 800mリレー 1位：品川・西垣・内田・岡田 400mメドレーリレー 4位：品川・西垣・前原・岡田	団体戦 2位 50m自由形 2位：鳥羽萌 200m自由形 2位：赤松摩紀 400m自由形 1位：赤松摩紀 50m平泳ぎ 3位：中村美穂 100m平泳ぎ 5位：中村美穂 200m個人メドレー 1位：鳥羽萌 200mリレー 5位：鳥羽・中村・赤松・山下 400mリレー 2位：鳥羽・山下・中村・赤松 200mメドレーリレー 3位：鳥羽・中村・赤松・山下
ボート	団体戦：6位 舵手付きフォア：6位 新人シェルフォア：3位	シングルスカル：4位
陸上	800m やり投げ 3位：橋本龍太郎 4位：白石斗士雄	400m 3位：樋口真帆
バレーボール・バスケットボール・卓球・弓道 準硬式野球・ラグビー・サッカー・ウィンドサーフィン	入賞なし	

サークル紹介

剣道部

「毎日休まずに稽古し続けてきたのに！」

これは、2013年4月28日に久留米で行われた九州（九州山口医科学生体育大会）男子団体決勝直後に、チームの大將がふともらした言葉です。この大会、実力的に3年ぶりの優勝が確実視されていた大会でしたが、決勝で0-2というスコアで山口大学に敗れてまさかの準優勝。優勝すると意気込んでいた部員たちの落胆する姿を見るのは非常に辛いものがありました。

悲劇の春から歓喜の夏を迎えることになった2013年長崎大学医学部剣道部の5ヶ月の軌跡を振り返りながら、この紙面を借りて優勝報告をさせていただきますと思います。

まず参考までに最近5年間の西医体の成績を述べますと、5位・準優勝・準優勝・4位・4位と、あと1・2歩のところまで優勝旗を逃し続けている状況でした。2013年春の九州では、十分な稽古量とそれに裏打ちされた自信を胸に大会に臨みました。しかし、結果は準優勝。冒頭に先述した大將の言葉は、この結果を受けた素直な胸中を表した言葉だったと思います。

また、ただ練習試合をこなすだけでなく、部員たちで家が集まってビデオを見ながら研究するなど、竹刀を置いてからも高い意識を持って剣道に取り組んでいたようです。

しかしその5ヶ月後の9月25日、阿比留先生（長崎大病院第一内科准教授）が発起人となり、現役員27名と長崎在住のOB11名が集結して、第65回西医体男子団体優勝記念祝賀会が盛大に執

行われました。悲劇の春から歓喜の夏を迎えることになった2013年長崎大学医学部剣道部の5ヶ月の軌跡を振り返りながら、この紙面を借りて優勝報告をさせていただきます。

予選リーグは3勝0敗。1位通過で決勝トーナメント進出となりました。その後もシード校らしい堂々とした剣道で、決勝トーナメント1回戦、準々決勝を突破して準決勝にコマを進めました。

GWが過ぎて短いリフレッシュ期間や新歓が終わり、西医体に向けてチームは再始動しました。非常に充実した稽古で、さらに力をつけていく姿は、頻りに稽古にきていた長崎大学の由井先生（免疫学教室教授）や長田先生（長崎市内科）からも褒められる言葉が

準決勝の舞台は、ここ2年間で鬼門となっていました。部員たちの表情もより一層引き締まっていた。相手は、準々決勝で第1シードを撃破してきた島根大学。先鋒が1本負け、次鋒が1本先取するも2本取り返され逆転負け。負ければ終わりの中堅戦。本多（1回生）が先に1本取られましたが、鮮やかな逆転勝ち。副将は前日の個人戦で3位入賞を果たしている石原（5回生）で、貫禄の1本勝ちを納め大將戦となりました。大將は、九山のとこと同じく福本（5回生）。大將戦らしく緊迫した展開で、相手に1本先取され、さ

ただききました。自分たちの練習では足りず、その足は県外へ。前年度は1回しか行わなかった対外試合を1つでも多くこなすために部員たちはスケジュールを調整して6月に熊本大学と、7月には中四国・九州地区14大学が集まる練習試合合、久留米遠征、大分・九州大学との練習試合など、ほぼ2週間に1回のペースで練習試合をこなしていました。

準決勝の舞台は、ここ2年間で鬼門となっていました。部員たちの表情もより一層引き締まっていた。相手は、準々決勝で第1シードを撃破してきた島根大学。先鋒が1本負け、次鋒が1本先取するも2本取り返され逆転負け。負ければ終わりの中堅戦。本多（1回生）が先に1本取られましたが、鮮やかな逆転勝ち。副将は前日の個人戦で3位入賞を果たしている石原（5回生）で、貫禄の1本勝ちを納め大將戦となりました。大將は、九山のとこと同じく福本（5回生）。大將戦らしく緊迫した展開で、相手に1本先取され、さ

「集中集中。気持ちよく切らないよ。」

決勝戦の相手は浜松医科大学。先鋒戦は引き分けに終わりましたが、次



チームは再始動しました。非常に充実した稽古で、さらに力をつけていく姿は、頻りに稽古にきていた長崎大学の由井先生（免疫学教室教授）や長田先生（長崎市内科）からも褒められる言葉が



峰・飛永（4回生）が相手を瞬殺で2本勝ち。中堅・本多も相手を瞬殺で2本勝ちと続きました。そして副将・石原が開始直後に優勝決定打を決めました。準決勝の勢いそのままに、決勝戦を乗り切った印象でした。

会の途中、由井部長からの祝辞で、「団体戦のメンバーはもろろんのこと、部員一丸となった勝利だ」という言葉をいただきましたが、それは、大会後に部員たちが口にしてきた言葉と全く同じ言葉でした。

準決勝の舞台は、ここ2年間で鬼門となっていました。部員たちの表情もより一層引き締まっていた。相手は、準々決勝で第1シードを撃破してきた島根大学。先鋒が1本負け、次鋒が1本先取するも2本取り返され逆転負け。負ければ終わりの中堅戦。本多（1回生）が先に1本取られましたが、鮮やかな逆転勝ち。副将は前日の個人戦で3位入賞を果たしている石原（5回生）で、貫禄の1本勝ちを納め大將戦となりました。大將は、九山のとこと同じく福本（5回生）。大將戦らしく緊迫した展開で、相手に1本先取され、さ

予選リーグは3勝0敗。1位通過で決勝トーナメント進出となりました。その後もシード校らしい堂々とした剣道で、決勝トーナメント1回戦、準々決勝を突破して準決勝にコマを進めました。

準決勝の舞台は、ここ2年間で鬼門となっていました。部員たちの表情もより一層引き締まっていた。相手は、準々決勝で第1シードを撃破してきた島根大学。先鋒が1本負け、次鋒が1本先取するも2本取り返され逆転負け。負ければ終わりの中堅戦。本多（1回生）が先に1本取られましたが、鮮やかな逆転勝ち。副将は前日の個人戦で3位入賞を果たしている石原（5回生）で、貫禄の1本勝ちを納め大將戦となりました。大將は、九山のとこと同じく福本（5回生）。大將戦らしく緊迫した展開で、相手に1本先取され、さ



決勝戦の相手は浜松医科大学。先鋒戦は引き分けに終わりましたが、次

《学生の声 in 目安箱》

◎談話室やセミナー室、勉強スペースとして24時間使えるようにできないのか？

M：ぜひ、使えるようにしてほしいです！
H：使えるようになれば便利やろね
K：今年は、図書館も使えないし、勉強のための代わりのスペースが欲しいところ
H：たぶんほとんどの学生がそう思ってるね
K：他大学では、図書館は24時間使えるところもあるらしい…
M：でも、そうすると管理が難しいのではないかと… (^_^;)
H：そうね。学生の側からすると使えるようにしてほしいけど、管理するのは大学だからね
B：維持費や光熱費なんかの問題もあるし
Y：24時間空いてるなら管理とかいらないんじゃない？…と思ったんですが、別の施設も兼ねているから管理も面倒になりそうですね。
K：そうなんだよね、しかもその出費に見合うほどの利用者がいるかと言うと…
Y：電気代がすごいことになりそうですね。
M：図書館とちがって、使える人数が限られてくるのも課題ですね
B：ずっと占拠されることがないようにしないとイケませんね
H：冷暖房をフル稼働させる人とか出そう
K：否定できない(笑)
Y：そのうち自宅に帰らずにそこで生活を始める人が…
M：そんな人いるかな？(笑)
H：そうすれば自宅の光熱費が浮くよ
Y：出てくると思うよ？とくに試験前とか…
M：確かに
K：談話室は予約制だから、そうはならないと思うけどね
B：でも図書館は…
H：ソファがあれば、試験前はそこで仮眠して粘れるよ(笑)
K：仮に実現して何かしらのルールを決めても、それを破る人がでて、「やめます」とかなりそう…
H：そんな風にならないように、利用料をとるとか
K：それだ！
M：でもそうすると、みんな使うのでしょうか？
Y：お金とるとなったら、多くの人には使わなくなるでしょうね
K：だろうね(笑)
H：そうなってくると利用時間延長した分の光熱費が無駄になるだけ…
K：実現のための解決策が見当たりませんね

◎講義室のマーカ―が薄くて見えづらい！

K：…という意見が、目安箱に入っていました
K：まず、どこの講義室かな？たぶん第二講義室だろうけど
M：どこであろうと、買えばいい！…これしか無いでしょう？
H：第一講義室と第二講義室だろうね、ここでの講義でホワイトボードを利用される先生が多いから…
B：これは大学に常に用意してもらわないことには、どうしようもありませんね
K：今は使う先生が少ないから、あんまり苦情なんか出ないのかな？
H：スライドでの講義が大半だからね

メディア部では様々な「学生の声」を募集中です。
学生生活で日々思っていること、ぶちまけてみませんか？
またインタビューや座談へ参加してみたいなどの要望も随時受け付けております！
ぜひ体育支援センター前の目安箱に投函、
もしくはryojun-do@med.nagasaki-u.ac.jp までメールお願いします！
(文責：山本)

◎卒業証明書の発行について

K：これは、卒業された先生から頂いた投書です
K：電話で問い合わせたら、「パソコンサイトに載ってるからみて」だけで片付けられたとのこと。遠隔地からの発行依頼がしづらいつ
H：郵送では頼めなかったのかな？
B：そうですね、郵送ならパソコンや携帯使わなくても発行できるね
K：郵送で発行手続きの書類を送るくらいしてくれてもいいのでは？？ということでしょう。フォームはWEBから入手すると言われたけど…
M：PCを使い慣れない人は困りますね
B：パソコンありきの対応が不親切だということですね
H：たしか、大学系列の事務手続きで郵送を頼む場合は先に封筒に切手を貼って送る必要があったはず…
K：だから、サイトに誘導されたのかな？
Y：郵便での手続きについても案内したらよかったのに
K：これは、ぐびろが丘新聞への投書ではなくて、学務係への意見書だったのかな？

◎大学図書館(医学分館)改装中！こんな図書館に改装されたいのに…

B：地上10階地下3階建ての図書館！
K：計13階層もなんに使うんだ(笑)
Y：中にスターバックスが欲しいです
K：学内にカフェは確かにほしい！
M：保健学科が入っている図書館…
Y：保健学科入りってどんな図書館だよ(笑)
M：あの坂を登らなくてよくなる！
H：パノプティコン型の図書館にすればいい
K：斬新な案だな
H：現実的に図書館に求めるのは、学習スペースと図書館スペースの分離かな
B：それと、普通の本おいてほしいですね！文教図書館にはたくさんあるのに…
M：普通の本が少ないよね
K：医学書以外の蔵書は確かにあっていいと思う！別の分館から取り寄せできるとはいえ…
Y：その場で借りずに読むってシチュエーションを想定してないサービスだよな
M：そうだね
H：でも、勉強以外で図書館に2~3時間居座って本読む大学生っている？
M：僕はあったら読みます！暇があるときはそこそ利用者のいると思いますよ
K：本好きは意外にたくさんいると思うけど
B：ミステリーとか、おもしろいですよ！
M：試験前だけでも土日は10時頃まで開けてほしい…
K：いいね！実際、土日の閉館時間はいくらなんでも早すぎる
Y：24時間とは言わないので…お願いしたいですね
H：電子書籍が期間限定でブラウザから読み込めるサービスとか、これから需要あるかも
K：電子書籍も読める図書館いいね！
Y：やっぱり、まず一番にほしいのはみんな開館時間の延長みたいです
K：それと、情報メディア基盤センターの無料プリンタ設置！
M：保健学科はありますよ！
K：医学科だけないのか…
H：医学科はCBT室で出来るよ。紙補充されてないことが多いけど…あそこ常に紙切れ(笑)
K：え？知らなかった！
H：大学のプリンタに関するポスターあるじゃん
K：ポスターなんて知らない！
Y：紙の補充さえしてもらえれば、この問題は解決ですね

編集後記

数年前に復刊したこの「ぐびろヶ丘」、一時は再び廃刊となってしまうかもしれない時期もありましたが、先輩方や後輩達、その他様々な人達のおかげもあり、なんとかこころで続くことが出来ました。
私は今後、編集より離れることとなりますが、これからは後輩たちが作る「ぐびろヶ丘」が発刊されていくと思います。これからは、それぞれの世代に合わせて自由な姿を変えていくであろう「ぐびろヶ丘」を宜しくお祈りいたします。私自身もまた、それを読めることを楽しみにしています。
今まで、「ぐびろヶ丘」を支えていただきありがとうございました。
(山本直毅)

「学生の声 in 目安箱」のコーナーに多数のご意見等を投稿頂き、ありがとうございます。引き続き、みなさんが普段何気無く思ったことなど、どんな内容でも構いませんので、お気軽に投稿頂ければと思います。目安箱は、基礎棟の学務係及び体育支援センターのある廊下の各部活・クラブ用棚の上に設置しております。また、目安箱には「こんな記事やコーナーがほしい」などの本誌に対するご希望・ご意見等の投稿も歓迎しております。より多くの方に読んで頂ける新聞を読者の皆様と作って行けたらと考えております。
(古賀一史)

あけましておめでとうございます。
昨年は私は、オーケストラに参加したり、記事にもありますが三浦雄一郎さんの講演会を企画したりと、とても充実した年でした。
今年は三浦さんの講演会を聴いて興味を持った山登りに挑戦してみようと思います。今年も楽しい学生新聞を作っていきますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。
(松本 学)

昨年に引き続き、長崎の底冷えに必死で耐えている千葉原出身の私です。長崎は暖かいと思っただけに…完全に騙されました。今年もユニクロのダウンともこも靴下の最強装備で、暖房なしでいけるとこまでいきます。
(市川宏美)